



Press Information

VPR20-034

2020年6月5日(金)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン、「Polo」が輸入車初の最高評価「ASV+++」を獲得 **2019年度自動車アセスメント(JNCAP)における予防安全性能評価**

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:ティル シェア、本社:愛知県豊橋市、略称:VGJ)は、コンパクトハッチバックの「Polo(ポロ)」が 2019 年度自動車アセスメントにおいて予防安全性能評価の最高評価となる「ASV+++ (トリプルプラス)」を輸入車で初めて獲得しました。

自動車アセスメント(JNCAP)は、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)により、自動車の安全性能を評価、公表するもので、なかでも予防安全性能評価に関しては、2018 年度より「対歩行者衝突被害軽減ブレーキ」の夜間(街灯のある条件)評価を、2019 年度からは、より暗い「街灯のない条件」での評価が追加されています。

今回、「Polo」は、2019 年度「予防安全性能評価」において「対車両衝突被害軽減ブレーキ」や「対歩行者衝突被害軽減ブレーキ(昼間)および(夜間)(街灯のある条件)」での高い評価に加え、2019 年度より新たに追加された、「対歩行者衝突被害軽減ブレーキ(夜間)(街灯のない条件)」においても高い評価を獲得し、予防安全性能評価において最高評価となる「ASV+++」を獲得しました。

「Polo」は、2018 年に導入以降、「MQB」モジュールを採用することにより、これまで上級モデルに採用していた先進安全機能を装備し、高い安全性を実現してきました。お客様においても、充実した先進安全装備は高い評価を得ています。

また、今回の 2019 年度自動車アセスメントでの試験の後も、本年 3 月にはセーフティパッケージにレーンキープアシストシステム“Lane Assist”を追加するなど、さらに安全性の強化を図っております。

VGJ は、フォルクスワーゲンの総合安全コンセプト「Volkswagen オールイン・セーフティ」のもと、引き続き全てのモデルにおいて予防安全・衝突安全・二次被害防止のいかなるフェーズにおいても高い安全性を実現できるよう、商品企画を図ってまいります。